

新年号
2018. 1. 1
創造・参加・実践

WEST UNION

JR西労組 岡山地方本部

「安全の確立」を最優先に、 運動の継承、前進に全力で取り組む!



岡山地方本部 執行委員長
大瀧 浩二

新年あけましておめでとうございます。

昨年中はJR西労組岡山地本の取り組みに対し、ご支援・ご協力を頂き、誠にありがとうございました。

昨年を振り返って見ますと、安全問題では、糸崎駅構内での協力会社社員の触車死亡事故、福知山電区構内での死亡労災など、痛ましい二件の死亡労災事故をはじめ、墜落・感電などの重大な労災事故が相次いで発生した一年でありました。

岡山地本として、これらの重大労災事故を他事とせず、引き続き悲惨な事故を二度と起こさない決意を新たに、日々の業務における課題についての確に把握し問題提起できる体制づくりに取り組みながら、「安全の確立」を最優先に取り組んでまいります。

組織課題については、ベテラン役員が一線を退き、多くの若手役員が選出され、世代交代が大きく進む中で運動の継承が喫緊の課題となっております。

岡山地本として、継承の取り組みはこの二年間が正念場であるとの認識に立ち、全支部・入会会・オルグ活動をはじめ、学習行動など様々な取り組みを強化しながら、各機関とのコミュニケーションを深め、機関会議や世話役活動の重要性を訴え全体的な体制強化に向け、引き続き側、受け継ぐ側が危機感を持って取り組める体制づくりに取り組んでいく決意であります。

働き方改革については、現在、社会的テーマとなっている中で、労使でその実現に向けての議論と行動が展開されています。地方本部として引き続き現場実態を踏まえ、ワークライフバランスの観点からも現場実態を把握し、業務の取捨選択、平準化による適正な業務量と労働時間管理、柔軟な働き方の推進などについて取り組んでまいりたいと考えています。

政治については、九月二十八日に衆議院が解散され、民進党が三分裂するなどこれまでの政党の枠組みが大きく変わる中で、結果として、自民・公明党の与党が三分の二を超える議席を確保し、安倍政権の一強政治による暴走に歯止めをかける事が出来ず大変厳しい結果となりました。

今後も厳しい政局が続く事が想定されますが、引き続き政治との関わり的重要性を認識し、働くことを軸とする平和で安心な社会の構築、鉄道をはじめとする公共交通の健全な発展と私たちの生活の改善に向けた要求実現に向け、日頃からの政治への理解と参加を広げ着実に運動を進めていかなければなりません。

この様に多くの諸課題に対し、岡山地本として、組合員と家族の負託に応えるべく執行部一同さらなる運動の前進に向け全力で取り組む決意を申し上げると共に、引き続きのご理解・ご協力をお願い申し上げます。

制度政策部員	教宣部長	業務部長	組織部長	企画・制度政策部長	総務・福祉対策部長	書記長	副執行委員長	副執行委員長
秋山 尚輝	笠井 耕一	古武 真	鍋島 広行	吉井 康雄	森永 実	堂屋 敷光	今井 新市	宮本 数磨
会計監査員 川西 義之 小林 幹夫 新山 裕太								
職員 幡司 かおり 福田 香	特別執行委員	特別執行委員	教宣部員	教宣部員	業務部員	業務部員	組織部員	組織部員
	森下 裕馬	小坂 岳志	大林 靖知	野上 洋輔	笹井 真吾	安井 正義	仁科 鮎子	小橋 りえ